

デンカ剥落防止工法

定期管理試験 供試体作製方法（橋梁用）

（JSCE-K 533-2010「コンクリート片のはく落防止に
適用する表面被覆材の押抜き試験方法」準拠）

平成30年 10月

デ ン カ 株 式 会 社
インフラ・ソーシャルソリューション部門
特 殊 混 和 材 部

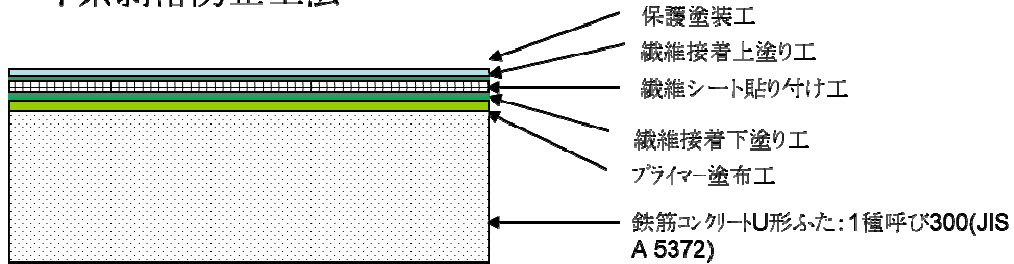
押抜き試験の実施手順書

1. 概要

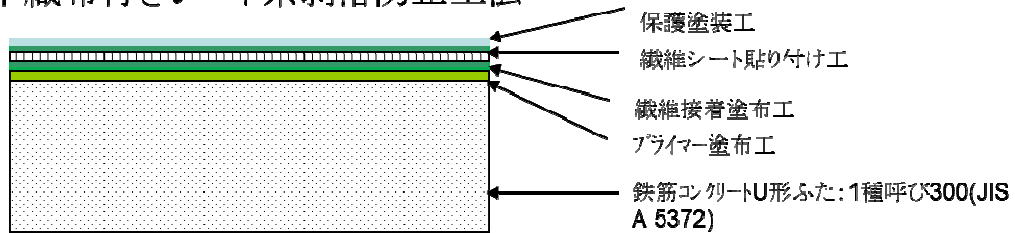
当社剥落防止工全般の定期管理試験項目である押抜き試験を、NEXCO 構造物施工管理要領保全編「3-7 はく落防止」で示されている JSCE-K_533-2010「コンクリート片のはく落防止に適用する表面被覆材の押抜き試験方法」に従って実施する為の供試体作製手順を記載したものである。

2. 供試体構成

シート系剥落防止工法



不織布付きシート系剥落防止工法



ハンシート系剥落防止工法

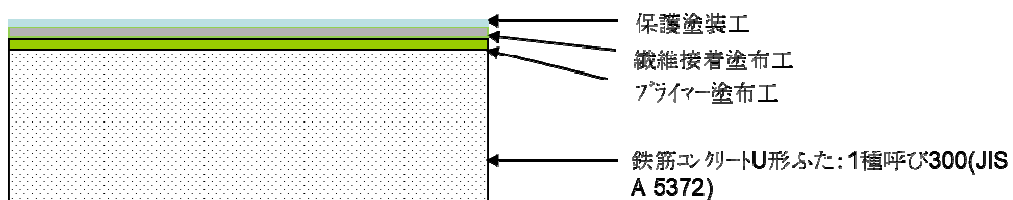


図1：各工法毎の工程

- 弊社で提供する被着体はすでにコア削孔済みである。
- 工法により保護塗装まで含めて性能証明しているため、保護塗装は必ず実施する。

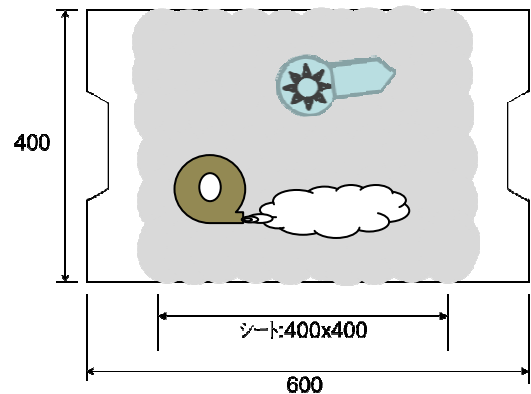
3. 供試体作製

① 試験体施工面の下地処理

ディスクサンダーにて削り残しが無いよう

ケレンしレイタンスを除去します。

施工面に削り粉が無いよう注意します。



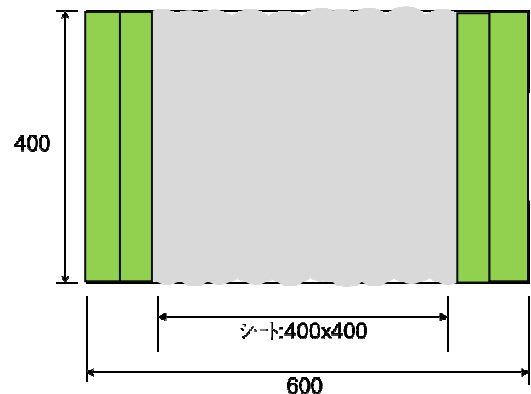
② 施工面積以外をマスキングする

試験体両端に市販養生テープ2列貼る。

養生テープ幅が50mmであるので両端部に

2列貼ると中央部施工面が400×400mmになる

念のため計測もお願いします。



③ プライマーを計量し塗布する

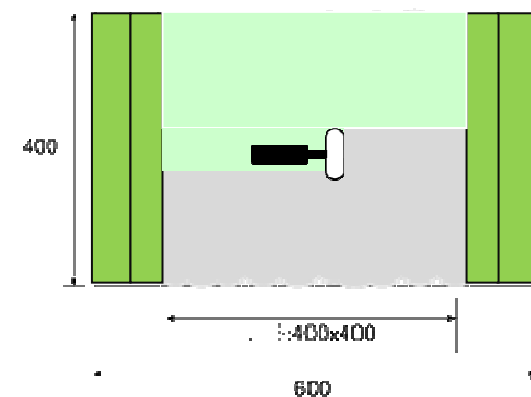
試験体を3体以上作製する場合は1体の塗布量

毎に分けて樹脂の配合を行う事。(以下、下塗り

材、上塗り剤も同様) 塗布後次の工程へ移る

場合は最低でも10分はプライマーの含浸時

間を確保する事。



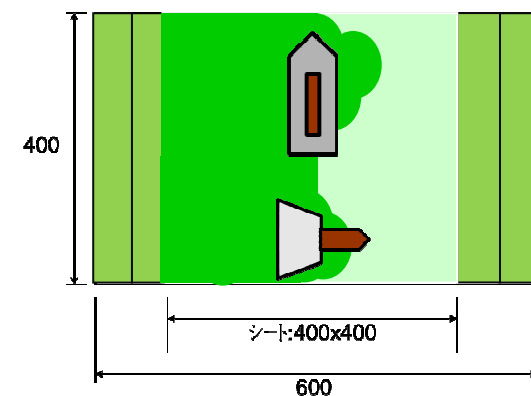
④ 下塗り材、繊維接着剤を計量し塗布する

下塗り材、繊維接着剤を計量塗布する。

ノンシート系の混合はファイバー入り

接着剤は特に練り混ぜに注意プライマー同様、

一度に施工する枚数は3枚とする。

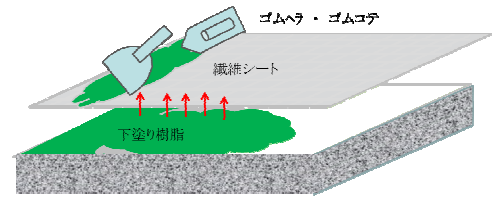


⑤ シートの貼り付け

●シート系剥落防止工

接着剤を下塗り後、直ちにシートを貼り付け

樹脂をシートに含浸させ、平滑にならす。

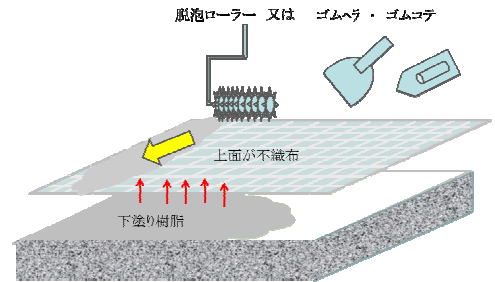


●不織布付きシート系剥落防止工

不織布側を施工面とは逆にして貼り付け

脱泡ローラー、ゴムコテにて樹脂を不織布上に

樹脂を押し出す。

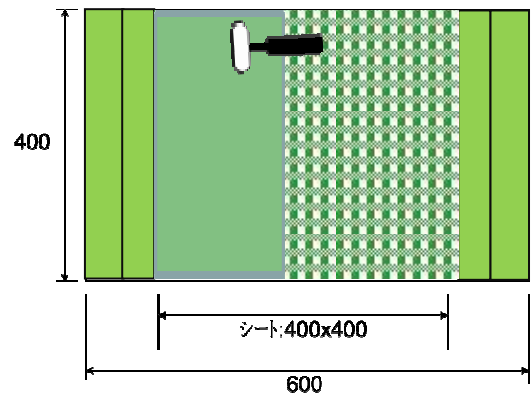


⑥ 上塗り工

シートが露出しないよう均一に塗布を行う

不織布付きシート系剥落は上塗りは無いが

状況に応じ塗布する場合がある。



⑦ 保護塗装工

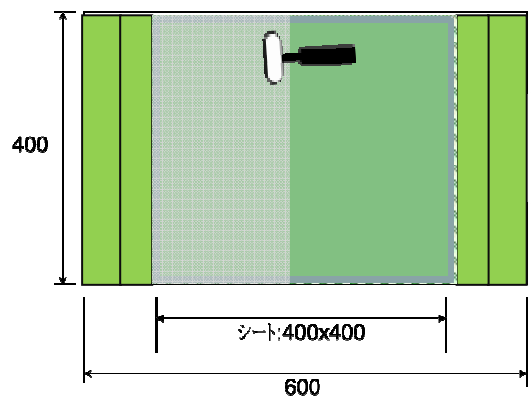
表面のタックが無くなったのを確認後

(通常は翌日) 塗装を実施する。

工法により使う保護塗料が異なるので注意。

また、工法により保護塗装まで含め性能証明

を取得しているのので、保護塗装は必ず実施する。



⑧ 養生

硬化養生は雨、風の影響を受けない場所で7日以上必ず設ける事。

梱包発送する際は、必ず保護塗装面にタックが無いことを確認する。